

2023 年度 第 19 回SSH若き研究者との対談×国立循環器病研究センター

キーワード 生物 医学部 名古屋市立大学 医師 研究者

目 的 医学研究への理解を深めるとともに研究を身近に感じるきっかけとする。

基礎研究と臨床研究の違いを学び、課題研究の取組の参考にする。

生徒が課題研究発表を行い、指導助言をいただくことで研究の質を高める。

場 所 大講義室（オンライン）

日 時 令和5年10月5日（木）

第一部 15:45～16:35 講演 1年生の探究科と普通科（全員）

第二部 16:45～17:15 質問タイム 課題研究発表・指導助言（希望者）

講 師 浅野 遼太郎 先生

国立循環器病研究センター病院 心臓血管内科・医師

国立循環器病研究センター研究所 肺高血圧症先端医学研究部・非常勤研究員

演 題 「医師という職業」

「臨床研究と基礎研究～患者さんに還元できる研究とは～」

「腸内細菌という新しい臓器」



事前学習

①難病情報センターHPを閲覧し、「肺高血圧症」について知る。

肺動脈性肺高血圧症 <https://www.nanbyou.or.jp/entry/171>

②腸内細菌研究で世界を牽引する本田ラゴ（慶應大学、理化学研究所）の論文（アブストラクトと図）に目を通し、「腸内細菌研究」について理解を深める。

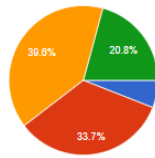
腸内細菌から産生される健康長寿に関わる胆汁酸—百寿者のマイクロバイームで増加する新たな胆汁酸の生合成経路

<https://www.amed.go.jp/news/seika/kenkyu/20210810-02.html>

③英語の論文のAbstractを和訳した。

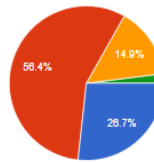
④浅野先生からの事前アンケートに回答した。

①将来研究したいか？
101 件の回答



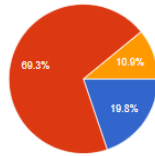
● そう思う。
● どちらかといえばそう思う。
● どちらかといえばそう思わない。
● そう思わない。

④英語の論文を読むことは自身の成長に役立つ（役だった）と思いますか。
101 件の回答



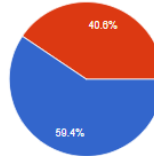
● 成長に役だった（役立つ）と思う
● どちらかといえば成長に役立った（役立つ）と思う
● どちらかといえば成長に役立たなかった（役立たない）と思う
● 成長に役立たなかった（役立たない）と思う

②腸内細菌って聞いたことある
101 件の回答



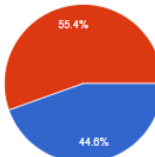
● 聞いたことある（よく知っている）
● 聞いたことある（やや知っている）
● 聞いたことない（知らない）

③研究をする医師がいることを知っていましたか？
101 件の回答



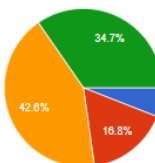
● 知っていた。
● 知らなかった。

⑥医師が英語の論文を書くこと・読むことを知っていましたか？
101 件の回答



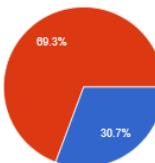
● 知っていた。
● 知らなかった。

⑦海外で働きたいと思いますか
101 件の回答



● そう思う
● どちらかといえばそう思う
● どちらかといえばそう思わない
● そう思わない

⑧名古屋市立大学を知っていますか？
101 件の回答



● 知っている
● 知らない

○事前アンケートの結果について

研究したい生徒少ない 少しでも研究したい生徒が増えてほしい

腸内細菌を知らない生徒もいる

研究する医師 医師が英語の論文を書く読む 半分の生徒は知らない

医者の中でも選択肢の1つに研究者がある。

英語論文が成長に役立たないと思っている生徒17%だけいる

日本だけで完結することは少ない 世界から情報がくる！ 論文 英語で書かれたものみんなが読んでくれる 批判的な検証（査読）を経ている。信憑性が高いもの 正しく新しい知識を得られる！ 世の中が変わる 科学が発展する。 AI を使っても 英語の文献を取り入れて！

海外で働きたい 生徒の4分の3が働きたくない